

令和1年12月7日

芦屋市企画部市民参画課
課長 浅野 令子 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしや NPO センター
事務局長 橋野 浩美

災害時対応セミナー 災害時の住報告書

- 1 開催日時：令和1年12月7日(土) 10:00～12:30
- 2 担 当：橋野
- 3 参加者数：22名(内、クラーク記念国際高等学校3人、あしぞう1人、防災安全課1人、市民参画課1人、広報国際課1人、神戸新聞社2人、阪神南地区ビジョン委員会2人、芦屋市介護福祉会1人、コープこうべ1人、(株)ためま1人、芦屋大学ボランティア部 aqua 1人)
- 4 内 容
 - (1) 目 的：2019年度災害時対応セミナー第5回 1年の総まとめ 4回の振り返りから次年度の取り組みを考える。
 - (2) 内 容：1回～4回の振り返り
津波避難すごろく
来年度に向けてのアイデア
- 5 参加者の感想：
 - ・参加しなかった回の内容を知ることができ参考になった。
 - ・「すごろく」体験で同じ状況でも違う行動をとるということが驚きでもあり、教訓となった。
 - ・芦屋市街から本校に通学する子どもたち(クラーク記念国際高等学校)が、芦屋市内にお住まいの方々とつながり、情報共有をすることで「地域とつながる重要性」に気づいた。これを自分の住む町でも作ってほしいと願っています。素晴らしい取り組みに参加させていただきありがとうございました。
 - ・今日の講座は身近に問題ありながら実際の理解が不足していたので大変有意義でした。参加者の熱意に敬服しました。
 - ・関係しているボランティア団体において高齢者の自助努力をするために必要な知識として、普段から会話の中に啓発していきたいと考えている。
 - ・今回しか参加できませんでしたがとても参考になった。クラーク記念国際高等学校の取り組みに感心した。津久井先生、お忙しいのに今日はありがとうございました。
 - ・ポリ袋、チリカンコンすごくよかったです。12月に行う地域イベントで実際にやってみようかな?と思います。

- ・たくさんの人やグループの方とつながることができました。災害時にも日常が大切だと痛感しました。

【来年度の取り組み、アイデア等】

- ・芦屋市の自主防災（町によっては防災担当の方がいない、あっても名前だけ）状況に「自主防災ってどんなん？」みんなが関心持てるようにする。
- ・災害時避難計画の作り方（地域の方と協力してどのように非難するか、医療、福祉関係との連携も課題）
- ・「防災士j」が芦屋市に何人くらいいるのか知りたい。各町に5～6人いれば心丈夫、目標は何人くらい？
- ・防災×CURRY（ハラールなど宗教、ヴィーガンなど思想、アレルギーなども対応）
- ・CAMPで防災！

6 振り返り

- ・1回～4回を主に担当してくださった方々が参加してくださったの振り返り会であった。一般参加で初めての参加者は2人で、大半は連続で参加の方であった。「日常」にこだわった内容が、連続参加という結果になったようだ。
- ・講師陣を大学生や20代～40代、子ども新聞記者を入れたり、高校生のボランティアを募ったりし、中高齢の参加者をサポートする形で多世代交流ができた。
- ・回を重ねるごとに協働する団体が増えてきた。作られた講座に参加するだけでなく、団体の特徴を生かした活躍の場を自ら作り上げていった。素晴らしい協働の場ができた。
- ・講座の構成としては、ある程度のストーリーだけ講師と打ち合わせし、参加者に合わせる形をとった。プロジェクターの停止や様々なアクシデントもあったが、講師陣、参加者が臨機応変に対応し、逆に親密度が高まった。「災害時」がテーマであることが幸いした。
- ・各回、炊き出し風昼食を取り入れたことで、より参加者同士の親密度が増したようだ。日本四季大学、コープこうべ、どちらも大好評だった。
- ・広報としてはチラシより Facebook をより活用したことが要因なのか、今までに参加していない人たちが参加した。障害を持った方、小さなお子さんの参加は1回だけであった。外国人の参加は無かった。更なる PR の方法、ターゲット先を考える必要を感じた。
- ・来年度はリードあしやの中だけのセミナーだけでなく、まちに出て、見て、聞いて、対応できるようにするセミナーを目指し企画する。

以上



11-ド芦屋・2020年の防災の取り組み「ア」行集!(分)

A 1年連続ハシ
関連資料の作成・新情報発信
防災意識を高めるハシ

B 学校行政 防災訓練の強化
月・本・年(学期)ごとの手段
地震対策の中心 啓蒙
高齢者への食事会での意識付け
防災士の交流
水確保

C 日々の意識付け
本気で学ぶ(本の活用)

才1回 和田さん
日常の意識付け
「おのまろ」
ハシ情報作り
災害・自衛隊
利用方法見直し
地域に合わせた情報と知識の
紙媒体+IT(おのまろLINE
Story)

才2回 永田さん 宇治さん
避難所での防災ハシ
おのまろの活用
避難所での防災ハシ
避難所での防災ハシ
避難所での防災ハシ
避難所での防災ハシ

才3回 藤井さん D-リング
避難所での防災ハシ
避難所での防災ハシ
避難所での防災ハシ
避難所での防災ハシ
避難所での防災ハシ

才4回 石法さん
防災倉庫
防災倉庫
防災倉庫
防災倉庫
防災倉庫
防災倉庫